

全日中事務局だより

平成23年度全日中総会に伴う拝謁・皇居特別参観での会長のお礼のあいさつと天皇陛下のお言葉

去る5月18日、第62回全日中総会に参加した校長等253名は、皇居特別参観の後宮殿春秋の間において天皇皇后両陛下に拝謁をいたしました。

その際、大江全日中会長から次の拝謁お礼のあいさつを申し上げました。

拝謁お礼のことは

本日、私も全日本中学校長会会員二百五十三名は天皇皇后両陛下に拝謁の栄を賜り、深く感謝の意を表すものであります。

私たちは、日ごろから両陛下が日々ご公務にお励みになられ、国民を励ましてくださるお姿に感銘をうけております。

特にこの度の東日本大震災に際しま

しては、天皇皇后両陛下をはじめ皇族の方々が無事被災地住民に温かいお心づかいを賜るお姿を拝見するにつけ、心からの感謝と感動を禁じ得ませんでした。

現在、我が国はこの度の災害をはじめとして、極めて厳しい状況に置かれておりますが、私たち公立中学校長は、中学生たちに「確かな学力」と豊かな感性、逞しく「生きる力」、を身につけさせ、「豊かな日本」の創造者としての立派な国民を育てるため、身を賭し、職責を全とうすることをお誓い申し上げます。

結びに、天皇皇后両陛下の末永きご健勝と皇室の益々のご繁栄を祈念いたしまして、謹んでお礼のことばといたします。

平成二十三年五月十八日
全日本中学校長会会長 大江 近

この御礼の言葉に対して、天皇陛下

から次のお言葉をいただきました。

天皇陛下のおことば

全日本中学校長会総会が東京で開かれるに当たり、出席者の代表の皆さんとお会いすることをうれしく思います。

今回は東日本大震災から日を経ずに行われた総会であり、この度の災害について様々な面から話し合われたことと思います。今日被災地における中学校の校長始め教職員、生徒の直面している苦勞はいかばかりかと察しています。皆が支え助け合って、この苦難の時を乗り越えられるよう願っています。被災地、非被災地を問わず、全ての教育機関において、今回のこの災害が語り継がれ、また、日本が今後常に向き合わなければならない自然災害に対する安全の教育が十分に行われていくことを期待しています。

どうか皆さんには、今後とも、将来

を担う生徒が心身ともに健全に育つよう、教育に、また学校の運営に、元気に努めていかれるよう願っています。

第二回常任理事会

7月27日（水）13時30分
全日中会館・4階会議室

- 一、第2回理事会報告事項
- 二、理事会協議事項
- 三、情報交換の内容

第二回理事会

7月28日（木）10時～16時
国立オリンピック記念青少年総合センター

- 一、報告
- 二、協議
 - ・埼玉大会運営要項
 - ・埼玉大会「宣言・決議」案
 - ・平成24年度全日中大阪大会
 - ・平成24年度一般会計予算案
 - ・平成24年度「全日中活動方針

情報交換

- 案」、総会「宣言・決議」作成上の基本方針（案）
- ・平成24年度全日中大阪大会「研究協議会主題」（二次案）
- ・「全国中学校研究校便覧」第24集掲載校推薦について
- ・平成23・24年度全日中関係会合

第45回役員研修会

7月29日（金）10時～16時
文京シビックホール・小ホール

講演

- 市川伸一氏 東京大学大学院教育学研究科教授
- 「学力と学習意欲を育てる学習環境づくり」
- 有森裕子氏 元マラソン選手、日本陸上競技連盟理事、日本体育大学客員教授
- 「私のマラソン人生と次代を担う青少年への思い」

会員訃報

東大阪市立盾津東中学校長 西村英俊様 五十八歳
南城市立佐敷中学校長 照屋 誠様 五十六歳
三月二十四日
四月十三日

※お詫びと訂正

前号47頁第3段11行目の「1地区の研究補助費は80万円」は、「1地区の研究補助費は90万円」の誤りでした。お詫び申し上げます。

（事務局長 青柳 修治）